

# 公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和7年度）

法人名： **公益財団法人 滋賀食肉公社**

## ○経営健全化方針を策定した理由：

滋賀食肉センターの運営・経営健全化は、当法人と株式会社滋賀食肉市場が一体的に取り組む必要がある。  
 また、滋賀県行政経営方針(平成27年3月)においても、当法人は、経営状況の改善に向けて県が重点的関与を行う法人と位置づけられている。  
 以上の点から、株式会社滋賀食肉市場とともに、当方針の策定対象と位置づけたものである。

## ○財政的リスクの状況

	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和8年度末 における目標
累積損失額(千円)	922,042	906,920	890,260	839,678	805,901	743,726	634,726
損失補償の額(千円) [A]	1,885,171	1,769,574	1,653,976	1,538,379	1,422,781	1,307,184	1,075,989
本県の標準財政規模(千円) [B]	334,637,307	337,982,241	354,095,378	346,850,325	352,918,448	363,762,355	—
実質赤字の早期健全化基準(%)	3.75%	3.75%	3.75%	3.75%	3.75%	3.75%	—
[A]÷[B] (%)	0.56%	0.52%	0.47%	0.44%	0.40%	0.36%	—

# 公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和7年度）

法人名： **公益財団法人 滋賀食肉公社**

## ○主な取組状況

### 【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- 牛のと畜頭数については、計画頭数を上回り過去最高となり、前年度に引き続き、単年度黒字を計上した。
- 一方、依然として多額の累積債務に加え、施設・設備の更新・修繕に係る費用や、電気料金、燃料費、廃棄物処理費の増加等から、厳しい経営状況が継続している。
- こうした状況を踏まえつつ、更なる経営の健全化を図り、センター運営の安定的な持続を実現するため、令和4年度に策定した第4次経営健全化計画に基づき、収益の確保や経費の節減等の収支改善に向けた取組を進めた。

### 【県による財政的なリスクへの対処のための対応】

- 消費者に対する安全で安心な食肉の安定供給と、近江牛をはじめとした本県の畜産振興を目的とする滋賀食肉センターの業務の円滑化および安定経営の実現に向けた取組を支援した。
- 当法人の経営改善の取組状況について、外部有識者から意見を伺った。
- 公益財団法人滋賀食肉公社において、施設・設備の計画的な更新・修繕、適切な管理が行えるよう、引き続き必要な支援を行う。
- 滋賀食肉センターを開設してから約18年が経過するなかで、施設・設備の更新・修繕に係る費用の増加等、顕在化してきている課題をはじめとして、センター全体において抱える様々な課題を洗い出し、解決するための方策や設置運営形態など、センター全体のあり方について検討を行う。

# 公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和7年度）

法人名： 公益財団法人 滋賀食肉公社

## ○法人の財務状況

(千円)

	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	
貸借対照表から	資産総額	2,752,941	2,682,959	2,634,396	2,653,140	2,713,114	2,620,917
	1)流動資産	41,457	54,114	47,172	36,167	111,418	54,577
	うち現金預金	24,157	28,657	25,606	16,371	88,016	18,768
	うち売上債権	17,272	25,429	19,298	19,796	23,402	35,809
	2)固定資産	2,711,484	2,628,845	2,587,224	2,616,973	2,620,697	2,566,341
	うち基本財産	1,403,190	1,402,601	1,402,013	1,401,425	1,400,836	1,400,248
	負債総額	2,036,643	1,932,687	1,861,780	1,738,010	1,715,043	1,522,311
	1)流動負債	39,732	70,124	60,185	72,438	166,744	87,286
	2)固定負債	1,996,911	1,862,563	1,801,596	1,665,572	1,548,299	1,435,025
	うち県からの借入金	44,408	44,408	44,408	57,408	70,408	87,408
うち有利子負債	1,941,421	1,807,074	1,746,106	1,597,083	1,466,809	1,336,536	
正味財産合計	716,298	750,272	772,616	915,129	1,017,072	1,098,606	
正味財産増減計算書から	経常収益	402,762	427,276	413,917	477,482	476,073	534,334
	経常費用	373,088	412,154	397,257	426,900	442,200	473,256
	当期経常増減額	29,674	15,123	16,659	50,582	33,873	61,078
	当期経常外増減額	△ 0	-	-	-	△ 96	1,097
	当期一般正味財産増減額	29,674	15,123	16,659	50,582	33,777	62,175
	一般正味財産期末残高	△ 922,042	△ 922,042	△ 890,260	△ 839,678	△ 805,901	△ 743,726
	当期指定正味財産増減額	41,765	18,851	5,685	91,931	68,165	19,360
指定正味財産期末残高	1,638,340	1,657,191	1,662,876	1,754,808	1,822,973	1,842,332	
正味財産期末残高	716,298	750,272	772,616	915,129	1,017,072	1,098,606	



# 公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和7年度）

法人名： 株式会社 滋賀食肉市場

## ○主な取組状況

### 【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- HACCP（危害分析・重要管理点）方式による衛生管理を徹底したと畜解体業務や食肉処理等の業務を行い、安全な食肉を安定的に供給した。
- と畜解体工程等でのHACCP運用状況確認を行うとともに、平成29年度に認証規格を取得したISO22000を更新した。
- 食品安全委員会を毎月開催するとともに、滋賀県食肉衛生検査所が主催する滋賀食肉センター業務調整会議に出席し、センターにおける衛生管理について情報交換、意見交換等を実施した。
- 令和5年度に策定した「（株）滋賀食肉市場中期計画」に基づき、自律的経営の実現、サービス・質の向上に向け、取扱頭数の適正な確保と業務の効率化、経費節減に努めた。

### 【県による財政的なリスクへの対処のための対応】

- 消費者に対する安全で安心な食肉の安定供給と、近江牛をはじめとした本県の畜産振興を目的とする滋賀食肉センターの業務の円滑化および安定経営の実現に向けた取組を支援した。
- 当法人の経営改善の取組状況について、外部有識者から意見を伺った。
- 滋賀食肉センターを開設してから約18年が経過するなかで、施設・設備の更新・修繕に係る費用の増加等、顕在化してきている課題をはじめとして、センター全体において抱える様々な課題を洗い出し、解決するための方策や設置運営形態など、センター全体のあり方について検討を行う。

# 公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和7年度）

法人名： 株式会社 滋賀食肉市場

## ○法人の財務状況

(千円)

	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	
貸借対照表から	資産総額	339,475	379,960	416,569	400,859	503,740	387,395
	1)流動資産	328,511	369,282	406,469	390,958	497,392	377,209
	うち現金預金	153,307	208,548	195,564	213,269	278,286	183,706
	うち売上債権	175,230	160,655	211,304	175,476	219,271	192,525
	2)固定資産	10,963	10,678	10,100	9,901	1,048	10,187
	負債総額	619,072	602,929	592,988	526,475	589,031	446,772
	1)流動負債	486,787	478,112	464,670	449,129	495,701	350,450
	うち短期借入金	260,000	240,000	190,000	204,476	164,476	120,000
	2)固定負債	132,284	124,816	128,318	77,346	93,330	96,322
	うち県からの借入金	44,476	44,476	44,476	-	-	-
うち有利子負債	20,978	14,510	8,012	4,016	20,000	15,992	
純資産総額	△ 279,597	△ 222,969	△ 176,419	△ 125,616	△ 81,291	△ 59,377	
1)資本金	44,070	44,070	44,070	44,070	44,070	44,070	
2)繰越利益剰余金	△ 323,667	△ 267,039	△ 220,489	△ 169,686	△ 125,361	△ 103,447	
損益計算書から	売上高	548,578	720,947	555,794	475,792	482,685	493,401
	売上原価	136,155	300,614	121,518	1,818	2,328	2,333
	売上総利益	412,422	420,333	434,275	473,974	480,356	491,068
	販売費及び一般管理費	392,971	382,467	406,504	432,917	434,079	473,432
	営業利益	19,451	37,866	27,771	41,056	46,277	17,637
	経常利益	39,060	56,813	46,735	61,095	66,228	27,643
	法人税	186	186	186	10,292	21,903	5,729
	当期純利益	38,874	56,628	46,550	50,803	44,325	21,914

## 公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和7年度）

### □外部有識者による評価

#### ○法人自らによる経営健全化のための具体的な取組に対する評価

（公財）滋賀食肉公社、（株）滋賀食肉市場

- ・ 公社、市場ともに、事業計画を上回る決算となっており、順調である。
- ・ 損益分岐点売上高などの財務指標を意識しつつ、枝肉セリの割合を今以上に高めるなど収益力を高める取組や、ネットオークションなど新たな施策を総合的に検討し、経営改善をより一層進めていただきたい。
- ・ 令和6年度の市場決算において、枝肉セリに関する売上（受託販売手数料）が3億円ある中、枝肉出荷に係る費用である「出荷奨励金」が1億円計上されており、「出荷奨励金」は経営改善を図る上で大きな課題と認識。すぐに廃止することは困難を伴うが、段階的な削減や縮小に向けて検討していくことも必要ではないか。

#### ○県による経営健全化のための具体的な対応に対する評価

- ・ 滋賀県は近江牛の産地と消費地が一体となっており、近江牛ブランドを振興していく土台ができている。また、近江牛を県のブランド、財産として捉え、県からの財政支援についてもしっかりと対応されている。
- ・ 県が中心となり、滋賀食肉センターにおけるあり方検討協議会において食肉センターのあるべき姿を模索・検討されているが、公社と株式会社を一体化することは、法的にも財務的にも極めて難しいと思われるので、施設・設備の所有は県が担い、業務運営は市場などの運営会社が担う上下分離方式とする等、最善の経営改善を図る方向性を検討いただきたい。
- ・ 食肉センターの経営や営業面についても、あり方検討協議会以外も含む様々な機会・場面を捉え、食肉センター関係者との議論やコミュニケーションを図り、食肉センター関係者もうまく巻き込みながら経営改善につなげていただきたい。